

事業所名: グループホーム 晴海の丘

作成日: 平成 28 年 7 月 1 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20 49	馴染みの人・場所との関係継続を図り、個々の希望にそって戸外へ出かける機会を多くもてるよう工夫を行う。また、施設近隣の散歩や近隣住民との交流の機会を増やすことに努める。	家族様の協力も仰ぎつつ、馴染みの関係継続及び、外出の範囲を広げることで他部署の利用者様や近隣との交流を増やす。	日常生活の中に室内で可能な筋力維持・増強のリハビリを取り入れ、介護計画に反映させる。その後、施設周辺の散歩や外気を感じて頂くプログラムを作成することで次第に外出の範囲を拡大し、最終的に利用者様の行きたい場所への外出支援に繋げる。	24 ヶ月
2	2 35	地域のネットワーク会議や地域包括主催の事例検討会・講習会等へ参加し、高齢者の支援のあり方など事業所で培った知識や実践を地域へ発信していくよう努める。	限られた職員だけではなく、全職員が地域の活動に関り、事業所を知ってもらうことや事業所を活用してもらえるように働きかけを行っていく。	地域のネットワーク会議等への参加を積極的に行い、事業所で培った知識や実践方法について地域へ発信する機会を増やす。また、職員の勉強会への参加や避難訓練への協力を仰ぐ。災害時の避難場所としての開放や備蓄品の検討も行う。	24 ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月